



問 給食を食べるまでの確認体制は

答 除去食指示書と照らし合わせ確認



岩瀬 計介 議員

食物アレルギーへの対応とチェック体制は

問 保育園、小・中学校の食物アレルギーへの対応は。

答 厚生部次長 除去食指示書と照らし合わせ、安全を確認している。保育士、栄養士、園務員に周知徹底を行っている。

答 教育部長 対応している児童、生徒は、現在10人である。該当アレルギー食材を食缶に投入する前に除去している。必要量を別の識別しやすい容器に移し、児童、生徒に提供している。



■保育園での給食の調理

保育園臨床心理士巡回事業について

問 具体的な巡回内容は。また、あおぞら園での巡回内容は。

答 町長 毎月2時間、各保育園を訪問し、保護者と保育士からの相談に応じる。

あおぞら園では年9回で、1回につき4時間訪問をする。児童の発達支援を図るため、個別支援計画策定へのアドバイスや保護者向けの講演会を行う。

町政を問う！個人質問



森田 義弘 議員

問 不法投棄の実態と対策は

答 協働して監視・啓発を進める

不法投棄の防止を

問 不法投棄の実態は。

答 厚生部次長 平成4年に二ツ峯で廃油の不法投棄事件があったが、その後、産業廃棄物の不法投棄は確認していない。

しかし、一般廃棄物の不法投棄は、町内の山間部や公園・ごみ集積所で発見されている。

問 不法投棄の防止には、住民参加型の監視・防止活動が必要ではないか。

答 町長 各区の衛生委員に監視活動をお願いしている。また、平成21年度から監視パトロールも実施している。今後、住民と協働して監視・啓発活動を推進する。

交通事故対策について

問 シートベルト、チャイルドシートの着用率は。

答 総務部長 昨年11月20日現在調査では、運転席100%、助手席88%、後部席20%であった。

昨年の県下の死亡事故で四輪乗車中の死亡者は63人。うち26人は、シートベルト、チャイルドシートを着用していれば助かったと思われる。



■監視パトロール



福本 貴久 議員

問 アマチュア無線局と連携体制を 答 活用方法など検討を進めていく

通信設備手段は

問 本町が住民に対して情報提供をすることができ通信設備・手段は何かあるのか。

答 町長 平常時は、同報無線、ホームページなど様々な手段で情報を伝達することが可能である。

来年度から住民向けの新たなメール配信サービス事業を予定している。このサービスは、通常時は行政からの各種情報を事前に登録した住民の携帯電話などにメール配信をする。災害発生時には、災害情報や避難情報などの速やかな情報の配信がされる。

アマチュア無線との連携体制を

問 アマチュア無線局を開設している住民と災害時において連携体制を図れないか。

答 教育部長 東日本大震災において、アマチュア無線はほとんど交信に支障がなかったと報道された。今後、連携体制の検討を進めていく。



問 ソーシャル・ネットワーク導入を 答 導入に向け、検討している

SNSの活用を

近年、SNS（ソーシャル・ネットワーク）といわれる「ツイッター」や「フェイスブック」などを活用し、防災・行政・地域情報を発信し、かつ住民の声やニーズを集め、行政運営に取り入れる自治体が急増している。素早く効率的に行政サービスを提供するための「情報インフラ」として、SNSの活用が加速している。政府が、防災のためにネット利用を自治体に求める動きもあり、武豊町においても早期導入を求め質問する。

問 SNSの導入に対して、これまでの取組は。

答 企画政策課長 必要性を十分認識し、導入に向け、検討している。

SNSの早期導入を

問 SNSの導入に関する、当局の見解は。

答 総務部長 情報発信のツールとしての広報効果、非常時における伝達手段として効果が発揮できている事実を踏まえ、情報発信ツールの可能性について見極めよう。

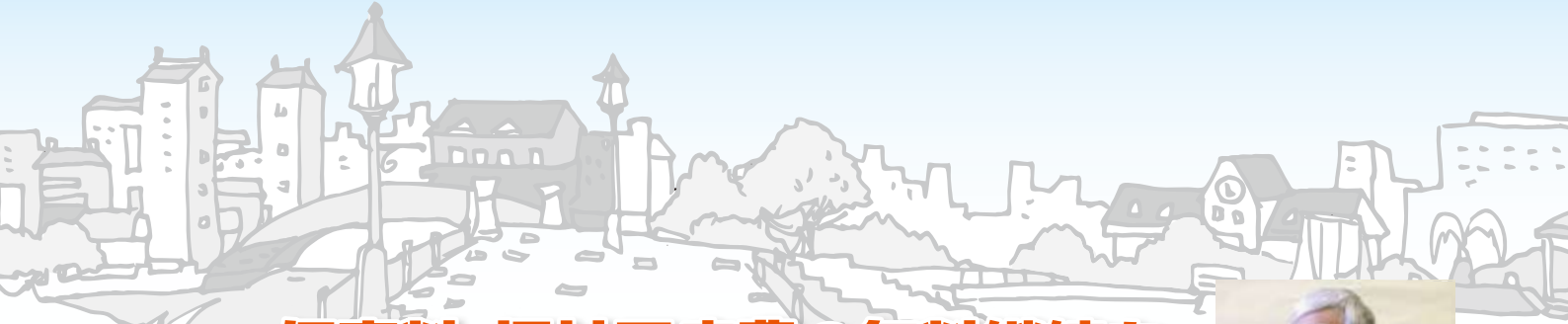
※他に「自治体配信メールサービスについて」の質問。



石川 義治 議員



■半田市では4月より防災・災害情報をツイッターで配信。武豊町も早期導入を。



問 保育料・福祉医療費の無料継続を

答 26年度以降については未定



梶田 進 議員

第3子の保育料 無料化継続を

問 愛知県は、18才以上の子どもがいる家庭の第3子保育料無料化制度に、所得制限を導入し、一部有料化した。武豊町では平成25年度は無料化を継続するが、26年度以降も町費負担で、第3子の保育料無料を続けたい。

答 厚生部次長 平成26年度以降については、現在のところ未定である。



■医療費受給者証

福祉医療費は無料で

問 県は福祉医療無料化制度に、患者の一部自己負担を導入する見直し案を公表した。優れた福祉医療制度に定額負担と所得制限を導入するものであり、県に強く中止を求めるとともに、武豊町として、無料制度を継続されたい。

答 町長 町議会はすでに「福祉医療制度の存続と充実を求める意見書」を愛知県に提出している。県の健康福祉部長から話があったが、平成26年度からの実施は拙速すぎると伝えた。知多5町会ではいろいろな意見があるが、意見が統一できれば要望を出していきたい。



小寺 岸子 議員

問 人にやさしい街づくりの推進を

答 整備基準を遵守し、推進していく

「人にやさしい 街づくり」を

問 愛知県では、「人にやさしい街づくり条例」が制定され、お年寄りや障がいのある方をはじめ、妊産婦など、だれもが安心して暮らし、気軽に出かけられる街づくりを推進している。

答 産業建設部長 町の役割は、「人にやさしい街づくり」を推進するため、地域の街づくりの担い手として、公共施設の整備を行い、人にやさしい街の実現を図ることである。県と連携し、人にやさしい街を築きたい。

法令・条例を遵守した 地区公民館の整備を

問 武豊町地区公民館等整備補助を活用する際には、法令・条例に適合した施設整備をすすめるべき。

答 教育部長 町からの補助金は、町民から徴収された税金、その他貴重な財源でまかなわれていることから「公正な活用」が求められる。条例の整備基準を遵守する必要があり、条例に反する状態であれば、是正に努めていただく。



■適合証



中川 一 議員

問 中小企業・商店と懇談会の増強を
答 情報交換の場を増やしていきたい

商業活性化の政策は

問 新年度予算の新たな政策、事業は何か。

答 産業建設部長 名鉄知多武豊駅東土地区画整理事業や地域交流施設整備および商店街街路灯のLED化を実施する。

問 中小企業・商店などとひざを交えての懇談会の実施を考えるか。

答 町長 部長や課長が会合などに参加し、情報交換が出来れば非常に良い。今後、進めていきたい。

災害時の要援護者について

問 要援護者の登録数は増加したか。

答 厚生部次長 24年3月に比べ横ばいである。登録制度は、要援護者の自発的意思と個人情報

の提供が必要で「手上げ方式」で募集している。

問 老人福祉センター内の見取図の設置は出来るか。

答 厚生部次長 センター内の見取図は早急に作成し、掲示する。



知多武豊駅東

問 「県民総ぐるみ運動」取り組む骨子は
答 地域の中で連携する生活環境構築

防犯は地域の連携が要

町民の安全・安心のよりどころである住宅で、被害に遭う侵入盗などは重大な問題である。

問 町内で過去3年間に発生した侵入盗などの件数および被害額はいくらか。

答 総務部長 半田警察署に確認したところ、3年間で「空き巣」が45件発生し、被害額が323万円。「忍び込み」は87件発生し、461万円。「居空き」は5件発生し、51万円であった。

問 被害にあった家の特徴的な問題点は。

答 総務部長 空き巣は午前中に6割、忍び込みは夜に6割、深夜に4割発生している。1階の窓に雨戸やシャッターを閉じていないことや風呂場の窓を開けているなどがある。

問 犯罪防止などに取り組む骨子は何か。

答 町長 各家庭における防犯対策の強化とともに、地域を挙げて犯罪が起こり難い生活環境をつくり挙げていくことである。

※他に「病児・病後児保育」について質問。



佐伯 隆彦 議員



侵入盗の口